

学校名	新座市立大和田小学校
実施日	令和 2年1月21日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	私は、自己有用感の高い学校づくりに取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて、日々の目標を自ら立てられるように指導すると共に、児童の頑張りを認め褒め、自己有用感を高めていく。具体的には、児童の望ましい姿が観られたときにかかず価値付け、褒め、共有する。 保護者と個人面談等で、学校と家庭で児童の良さを共有化する。 児童が自ら掲げた目標を見えるところに掲示するとともに、振り返りを適宜行い、PDCAのサイクルで取り組ませる。前向きな評価を積み重ねていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童数が多い状態で、しかも年度初めの時期に、全校がよくまとまった運動会を実施しているのはすばらしい。組体操など子どもたちが達成感を味わうことできる種目を工夫し、安全に配慮して実施している。 一体感をもって実施されており、達成感を共有して自己有用感を高めることができています。 運動会の実施内容の縮小が話題になっている学校も少なくない中で、努力して取り組んでいる様子がうかがえる。
2	私は、ゴール(身に付けさせたい力)を明確にし、主体的・協働的に課題解決を図る授業づくりに取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 全教科でゴール(身に付けさせたい力)は何かを明確にして授業実践する。学年や教科を超えて、実践したことを、情報交換することで、教員の授業力を高めていく。 気付く、発見する、イメージ化する、共感的に理解する、表現する、深化するなどの内的な動機付けを重視した指導を高めていく。 学校としての授業の大まかな流れを共通理解したり、板書の書き方を統一したりする。それにより、更に主体的・協働的に課題解決を図る授業改善を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 目標に向けて情報交換をするなど、教職員が協力して教育力を高めようとしている様子がうかがえた。 チャレンジタイムの継続的な取り組みがすばらしい。実態をとらえて対応している。 自己評価の説明から課題を解決しようとする様子がうかがえる。前向きな取り組みが感じられる。課題に対して厳しく自己評価していると思われるが、Aの評価でよいと考える。
3	私は、児童の『自分から』を大事にした主体的・協働的な教育活動に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的におあしすのこ「お願いします」「ありがとうございます」「失礼します」「すみません(ごめんなさい)」「こんにちは」の活動を継続的にできるように教師自ら実践し、学年を超えどの児童にも指導し、多くも目で見守るように指導していく。 授業開始・終了時刻を守ることを徹底するなど、教師が自ら範を示し、児童が『自分から』主体的・協働的に生活したり、学習したりすることができるように、前向きな評価を積み重ねていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、あいさつの評価が分散するなど、見方はいろいろだが、全体的にはよくてできていると思う。自分から先に挨拶ができるようになってほしいと願う。 児童会が中心になって挨拶の取り組みをしていることも、是非継続してほしい。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年、校務分掌で自分の役割を確認し、早めに連絡調整し、見直しを持つ。重要なことは印刷して紙ベースで確認し、主任・副主任の連携を充実させるために、会議等で自分の役割を振り返ったり、事前の連絡、調整を十分に行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 大規模校にもかかわらず、運動会の様子や公開日の様子から、適切な役割分担のもとで運営されているように思われる。一方で、「働き方改革」の課題もある。学校だけの対応では難しいと思うので、子どもと触れあう時間を増やせるよう事務量の軽減を教育委員会とも相談して工夫してほしい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 報告、連絡、相談を綿密に行う。学年や学校の様々な取組の目的を今一度明確にし、共通理解・共通行動を大切にしながら実践する。 諸問題について、学年や学校として対応している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の評価内容などからみても、順次改善に取り組んでいるようすがうかがうことができ、PDCAサイクルに基づく学校運営が行われているように思われる。 時間が限られている中で難しいところもあると思うが、子どもたちに関わる打合せや情報共有には工夫をして取り組んでほしい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できる。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルに沿った避難訓練を実施し、警察の指導のもと、マニュアルの見直しや共通行動の確認をすることができた。 緊急時の対応について、職員室に掲示するだけでなく、実践している。 報告、連絡、相談を速やかに行うことを確認した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルに基づく避難訓練を計画的に実施し、ビデオカメラによる状況把握等、安全対応にも配慮されている。県警の犯罪情報等も活用し、登下校時の安全についても注意を喚起されるとよいと思う。 想定外の自然災害における避難所としての対応も考慮されたい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝の活動で基礎定着の確認と、昼の活動で振り返りの時間を設定し、読み・書きを定着させる機会を設けた。少人数指導や授業を見合う機会を充実させることができている。 学習規律については、複数の目で確認するとともに、見逃さず声かけをしたり、できている児童を評価し意欲付けしたり、繰り返し指導をしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 朝の15分の活動は落ち着いてあ授業を行う上で効果的だと思われる。読み聞かせなども余裕を持って実施できる。 朝、昼の学習理解を深めるための活動は成果が期待できる取り組みとして評価できる。継続してほしい。実態を捉えて定着を促す取り組みをしていてよいと思う。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 目と耳と心で聴くことを繰り返し指導していく。 自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりする機会を継続、充実させていく。 教材研究を充実させ、思考力・判断力・表現力等が育成できるように、交流活動や言語活動など様々な手立てを研究していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価はBとなっているが、公開日などに授業を参観すると、工夫して指導している様子がうかがえる。子どもたちも積極的に学習に取り組んでいるようすがみられる。研究活動も熱心に取り組んでおり、Aとして評価できる。 国際社会で通用する言語活動ができるよう自己表現や意思を伝える力の育成に注力されている様子がうかがえる。 授業の中で、話す、聞くの指導が徹底している。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童に身に付けさせる力を明確に絞り、学習指導要領から位置づけることができています。 自主学習の取組について検討するとともに、家庭との連携を大事にし、授業を見合ったり、教材研究を協働的に行う時間をとれる体制を整えていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達や学力に即した目標を設定して、学習指導が進められている。 学校だよりやホームページの様子から、教育の課題をとらえた取り組みが行われているようにみえる。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ALTと連携し、計画的に授業を展開させることができている。 外国の文化や言葉を知識として学べるよう、内容の見直し、精選を継続していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 以前より英会話重視の従業が行われており、児童の実態に合わせて展開されていると思う。 オリンピック/パラリンピックを契機に、英語教育の進展に期待する。学習指導要領の改訂に伴う英語教育の課題にも対応されたい。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	B	・教師が自ら言葉遣いの模範となるようにしていく。 ・あいさつ運動を代表委員などの活動で、あいさつが広まっている。更に効果的をあげるように、継続指導する。 ・「自分から」あいさつできるよう、これまでの取組を生かすとともに、教師が範を示すことができるよう意識を高くもつ。	A	・教職員が範を示して取組を進め、成果が上がっていると感じる。登下校時の挨拶も概ねよいと思います。挨拶は自分から、が実践できると良い。 ・代表委員の挨拶の取組もよい。教職員も範を示している。引き続き努力してほしい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合っ学校生活を送れるような環境を整備している。	B	・学級全体で認め合う言葉を増やし、暖かい雰囲気づくりをする。相手の悪いところばかりでなく、良いところを積極的に見つけ、認め合えるような声かけをしていく。 ・生徒指導上の課題など、「何が起きて」「どのような方針をとるのか」を情報共有し、学校全体で環境整備を進めていく。	B	・SNSの問題など、学校としての対応が難しい問題もあると思うが、子どもたちの実態をとらえ、必要に応じて家庭にも呼びかけるなどして対応をすすめてほしい。 ・互いに認め合うことができるような人間関係づくりに引き続き努力してほしい。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	・職員会議や職員集会時に、年度当初に共通理解したことを定期的に確認したりふり返ったりする機会をもち、手本としての教師の意識向上を図る。 ・全校朝会や集会の場を生かし、よい行いを認め、褒めたり、紹介したりする機会を意図的につくり、児童の規範意識を高めていく。	A	・校内がきちんと整頓されており、清潔さを感じるとともに、教職員の皆さんからは、教職に携わる責任感を感じる。 ・課題に取り組む上で、振り返りは大切だと思う。日頃の様子から、教職員の皆さんの意識は高いと感じている。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	・体力テストや朝マラソンの結果など、掲示物を有効活用した。朝マラソンの取組について、児童が「自分から」取り組めるような啓発の仕方を工夫していく。 ・体育部を中心に、体育授業の質を全体で向上させていく取組を研究する。	A	・児童数からみて圧倒的に狭い校庭を有効に活用して体力向上に取り組んでいるようすがうかがえる。体力向上に関わる掲示物も多く、意欲を持って取り組むことができるよう工夫されていると思う。引き続き体育の授業や体力向上など、質の高い取組を期待する。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	・調理員さんへの感謝の気持ちを大切にしながら、時間内に栄養バランス良く完食できるよう指導を継続していく。 ・給食試食会等の機会を活用し、家庭と連携して食育に取り組む。	A	・食の安全に配慮し、栄養バランスを考えて工夫された給食が提供されていると思う。作る人の顔が見えると、食に対する意識も深まると思われる。 ・オリンピック/パラリンピックでブラジルのホストタウンであることを機に、海外の食も紹介できるとよいのではないだろうか。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、PTA活動や地域活動に関心を持ち、保護者・地域と連携協力している。	B	・PTAや地域の方と連携し、教育活動を進めることができている。保護者や地域の意見に対して具体的に、適切に対応できるよう、今後も努めていく。 ・PTAや地域の方の協力に、感謝の思いを伝えていく。	A	・PTA活動が活発に行われ、子どもたちの成長を支えていると思う。学校、地域、PTAの連携・協力がよくできている。 ・運動会で敬老席を設け、子どもたちが招待状を作って配布するなど、地域に密着した活動が行われている。こうした活動を大切にしてほしい。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・学校だよりによる定期的な情報提供とともに、コンピュータ業務補助員と連携し、研修内容や学校行事、校長コラムによる普段の様子等、ホームページで頻繁に情報提供することができている。	A	・町内会を通じて学校だよりが定期的に回覧され、学校の様子を知るのに役立っている。HPも定期的に更新され、学校の様子がよくわかる。どのくらいの方が見ているかわからないが、HPの内容や更新について広く知ってもらうことも必要だと思う。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	・ミンサポーターや読み聞かせボランティア、花植ボランティアなどの協力が、教育活動の充実につながっている。 ・学校応援団の意義や構成メンバーなど、職員が理解を深め、より効果的に連携していく。	A	・学校応援団の理解を広めるとともに、一層の充実を期待する。 ・安全パトロールや読み聞かせなど、校内環境の整備など、目に見える活動についても引き続きPRしてほしい。東校舎の前に新しく作られた花壇のこれからが楽しみである。